



3月度の御書の

「聖人御難事」

御文

獅子王は百獣に

をぢず・獅子の子

・又かくのごとし

(御書190ページ)

意味

「獅子王」は百獣をお

それない。「獅子王の子」

も、また同じである。

題目は何事にも負けない 最も強い力！

やあ！ライオン博士のキング君だよ。6年生は、いよいよ卒業だね！中等部でも自信をもって前進して行ってね。1年生から5年生は、進級前の大事な1カ月だよ。

ところでみんなは、日蓮大聖人がどんな人生を歩まれたのか、知っているかな？今回はそれをいっしょに学んでみよう！

「獅子王」の人生——

大聖人は、りょうしの子どもとして、千葉県の「安房」というところで生まれたよ。12歳の時には、人々の幸せのために行動できるよう、「日本一、知えのある人にしてください」と、大きなねがいを立てられたんだ。そして、仏法の教えや、あらゆる学問を学びぬき、32歳の時に、みんなを幸せにできる「南無妙法蓮華經」を広める戦いを始められたんだ。

大聖人は、なやんでいる人、苦しんでいる人を救いたいと、あらゆる人に「南無妙法蓮華經」のお題目を伝えていかれた。ところが、人々の中には、そんな大聖人を良く思わない人たちがいたんだ。そうした人々から大聖人は、悪口を言われたり、住まいをおそわれたり、生きて帰れないような遠くの土地や島へ2度も送られたりと、何度も命をねらわれたんだよ。

それでも大聖人は、一歩もひかずに、堂々と、人々に仏法の正しさを語っていかれた。そして、たくさんの人々が「南無妙法蓮華經」を唱えて、幸せになることができたんだ！

みんなは獅子の子——

御文に出てくる「獅子王」とは、そう！「ライオンキング」のこと。どんな敵もおそれない、百じゅうの王のことだよ。まさに大聖人のことだね！

「獅子王」は何ものにも負けない。大聖人は、「獅子の子」も同じである、と教えられているんだ。少年少女部のみんなは、1人ももれなく「獅子の子」なんだよ。どんなことにも負けない「獅子王」のパワーを自分の中に持っているんだ！それを引き出していくのがお題目だよ。

池田先生は語られているよ。

「みなさんには、題目という、しし王がほえる声のように、どんな苦しいことにも負けない、最も強い力があります。だから、何があっても、明るく自信满满と、へこたれず、学び、努力を続けていってください」

さあ、もうすぐ希望の春！お題目を唱え、獅子の子らしく成長していこう！